

ディルク・ブロッセは、音楽に情熱を注ぎ、世界各地で指揮者および作曲家として活躍しています。現在、*The Chamber Orchestra of Philadelphia*、および、有名な *Ghent Film Festival* の *The World Soundtrack Academy* の音楽ディレクターを務めています。また、ジョン・ウィリアムズのスター・ウォーズ in コンサート・ワールド・ツアーの指揮を務めました。ベルギーのアントワープ王立美術アカデミー / 王立音楽院の作曲と指揮の教授でもあります。

ディルク・ブロッセは、コンチェルト（協奏曲）、オラトリオ（聖譚曲）、リート（歌曲）、室内楽、交響曲など、およそ 400 もの作品を作曲しています。また、映画、テレビ、舞台の音楽を広く作曲しており、BBC/HBO シリーズの *Parade's End* は *Emmy Award* に、*Knielen* は *Het Gouden Kalf* に、それぞれノミネートされました。その他の作品には、ミュージカル「プリンス・オブ・アフリカ（*Prince of Africa*）」、「神父ダーンズ（*Daens*）」、「サッコとヴァンゼッティ（*Sacco & Vanzetti*）」、「タンタン（*Tintin*）」、「レンブラント（*Rembrandt*）」、「ベン X（*Ben X*）」、「ポーリーヌとポーレット（*Pauline & Paulette*）」、「14-18」、「スクルージ（*Scrooge*）」があります。

2010 年には、香港中楽団の依頼を受けて *The Hallow-e'en Dances* を作曲しました。ハロウィーンからインスピレーションを受けたこの作品は、古い伝統的な中国楽器向けに特別に作られました。最近では、ジェシー・ノーマン（*Jessye Norman*）のために、元欧州理事会議長であるヘルマン・ファン・ロンパイ（*Herman Van Rompuy*）の俳句をベースとする *Haiku Cycle 1* を書いています。

ディルク・ブロッセは、国内外の多数の主要なオーケストラで指揮者を務めてきました（ロンドン交響楽団、ロンドンフィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、バンクーバー・オペラ、リヨン国立オペラ、香港中楽団、スイス・ロマンド管弦楽団、および、ブリュッセル、アントワープ、ロッテルダム、バーゼル、マドリッド、ポルト、バーミンガム、アルスター、リバプール、グラスゴー、プラハ、ベルゲン、コペンハーゲン、上海、香港、ソウル、クイーンズランド、セントピーターズバーグ、カラカス、広島、大阪、アスタナ、ミュンヘン、ストラスブール、ダブリン、クラクフ、ブダペスト、バンクーバー、ヨーテボリ、スタバングル、ロサンゼルスフィルハーモニー管弦楽団など）。2008 年にロンドンのロイヤル・アルバート・ホールに初出演してロンドン交響楽団を指揮し、2016 年にはニューヨークのカーネギー・ホールに初出演しました。

100 を超える CD を発表しており、世界クラスのアーティストとコラボレーションしています（ジョゼ・ヴァン・ダム（*José Van Dam*））、バーバラ・ヘンドリックス（*Barbara Hendricks*）、ジュリア・ミゲネス（*Julia Migenes*）、クラロン・マクファーデン（*Claron McFadden*）、ジュリアン・ロイド・ウェッバー（*Julian Lloyd Webber*）、ザビーネ・マイヤー（*Sabine Meyer*）、アリソン・バルサム（*Alison Balsom*）、サルヴァトーレ・アッカルド（*Salvatore Accardo*）、ジョン・ウィリア

ムズ（John Williams）、トゥーツ・シールマンス（Toots Thielemans）、ハンス・ジマー（Hans Zimmer）、エルマー・バーンスタイン（Elmer Bernstein）、エマ・トンプソン（Emma Thompson）、ケネス・ブラナー（Kenneth Branagh）、ランディ・クロフォード（Randy Crawford）、リサ・ジェラルド（Lisa Gerrard）、メル・ブルックス（Mel Brooks）、モラーヌ（Maurane）、シネイド・オコナー（Sinéad O'Connor）、モーリス・ジャール（Maurice Jarre）、ミシェル・ルグラン（Michel Legrand）、ユッスー・ンドゥール（Youssou N'Dour）、マルセル・ハリフェ（Marcel Khalifé）、ジョン・マルコヴィッチ（John Malkovich）など）。また、ステイン・コニクス（Stijn Coninx）、フランク・ヴァン・ラック（Frank Van Laecke）、スザンナ・ホワイト（Susanna White）、ローランド・ジョフィ（Roland Joffé）などの映画監督、および、ガブリエル・ガルシア・マルケス（Gabriel García Márquez）、セス・ガークマ（Seth Gaaikema）、ディディエ・ヴァン・コーヴラール（Didier van Cauwelaert）などの作家と共同作業しています。

ディルク・ブロッセは、フランダース文化大使の称号を得ており、また、フレミッシュ議会の *Gold Medal for Merit*、*Achille Van Acker Prize*、*Joseph Plateau Honorary Award*、*Global Thinkers Forum Award for Excellence in Cultural Creativity* を受賞しています。

2010 年にデステルベーク（Destelbergen）の名誉市民に選ばれ、2013 年には、ベルギーの貴族としての爵位を授与され「サー（Sir）」の称号を得ました。ベルギーの王立フレミッシュ芸術科学アカデミーの会員であり、2018 年からは、ブリュッセル自由大学（**Brussels University** VUB）芸術・人文科学学部のフェローに就任しています。さらに最近には、ベルギー王国フィリップ国王陛下より「レオポルド二世勲章コマンドール章」を授与されました。